

沿岸養殖通報(第3報)

【種がき 平成21年7月27】

宮城県水産技術総合センター 東部地方振興事務所水産漁港部
宮城県漁協各支所青年部・研究会

本日、種がき浮遊幼生調査を実施しましたので結果をお知らせします。また、熟度調査、試験連への付着状況をお知らせします。

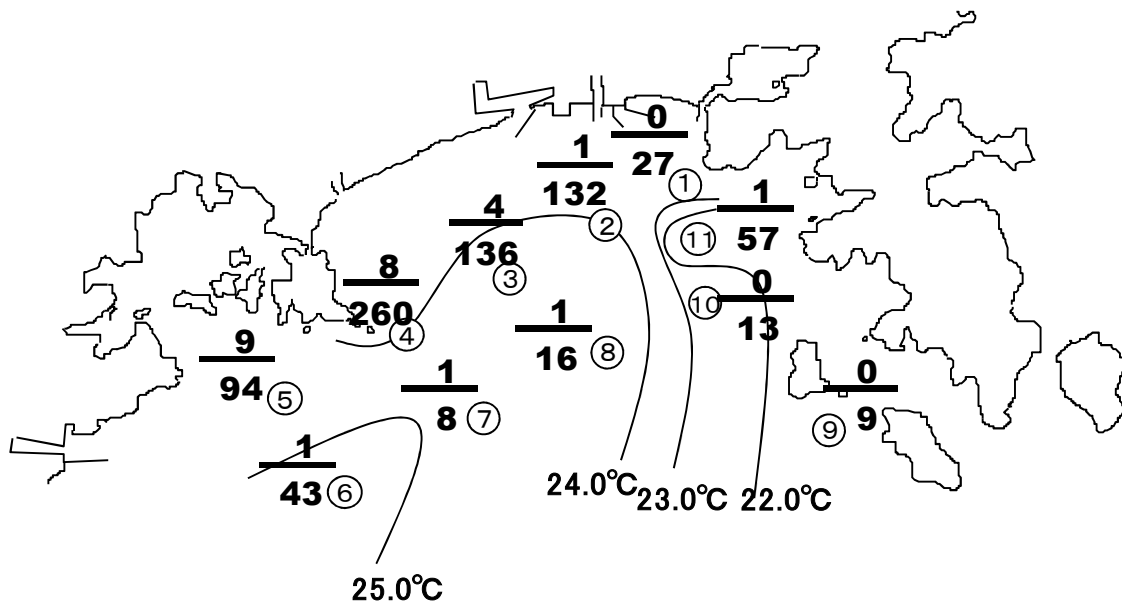
[概況]

1. 石巻湾の表面水温は21.3~25.2℃, 比重16.4~25.7でした。
2. 本日の調査ではカキの幼生は多いところで260個/100L程度観察されました。
3. 当センターの佐須浜試験連の観察では、付着はほとんど確認できませんでした。

▼カキ浮遊幼生の出現状況調査結果(7/27)

H21 7月27日 9:45~12:25 晴れ後霧

調査点	表層水温 (°C)	比重 (σ15)	透明度 (m)	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					合計
				<100	100~150	150~200	200~250	250<	
1	23.2	16.4	5.0	4	9	9	5	0	27
2	24.0	17.2	5.5	23	76	26	6	1	132
3	24.2	18.2	3.5	42	62	18	10	4	136
4	24.0	20.2	4.0	39	151	44	18	8	260
5	24.2	21.8	4.5	5	37	25	18	9	94
6	25.2	20.1	6.0	3	10	14	15	1	43
7	24.9	17.4	5.0	0	3	3	1	1	8
8	24.5	19.9	6.5	1	9	3	2	1	16
9	21.8	25.7	9.5	7	1	1	0	0	9
10	22.8	24.5	9.0	4	5	2	2	0	13
11	21.3	23.0	7.5	25	25	2	4	1	57



上段: 付着期(250μm以上)幼生数、下段: 全幼生数

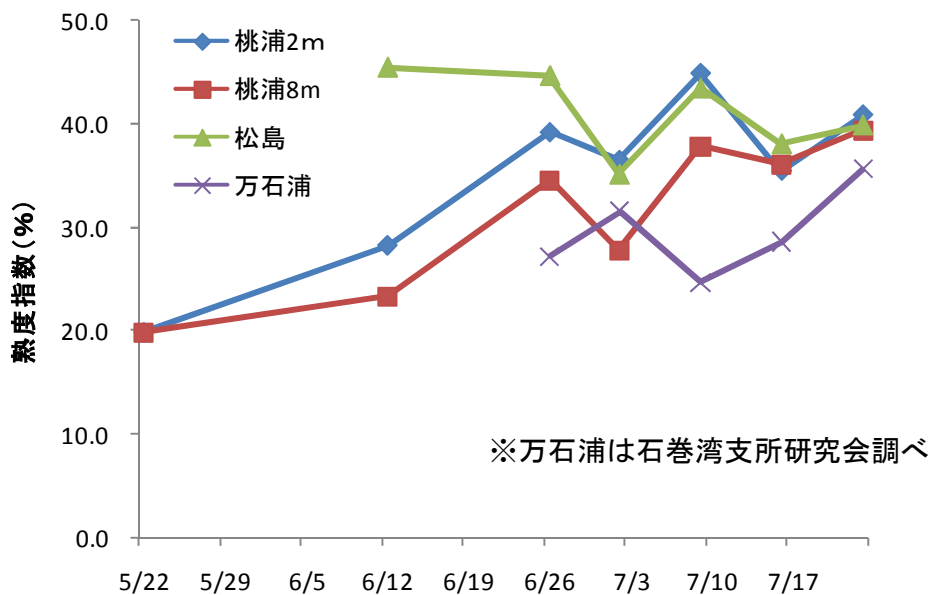
▼研究会による調査結果

観測研究	調査点	月日	水温(°C)	比重	サイズ(μm)別幼生数(個/100L)					合計
					<100	100~150	150~200	200~250	>250	
石巻東部	焼山	7月24日			100	0	0	0	0	100
	焼山沖				20	0	0	0	0	20
	君ヶ根				300	0	0	0	0	300
	君ヶ根沖				50	0	0	0	0	50
荻浜	1列目	7月27日	20.5		10		30	0	0	40
	4列目		20.5		100		30	0	0	130
	12列目		21.0		500		20	0	0	520
桃浦	一段目	7月24日	20.2		30	0	0	0	0	30
	五段目		20.2		20	0	0	0	0	20
	十段目		20.4		20	4	0	0	0	24
	小物崎		20.2		20	1	0	0	0	21
	明神崎		20.0		20	4	0	0	0	24
石巻湾	松前	7月26日	21.5	23.0	5	5	6	0	0	16
	基幹滞		22.0	23.0	200	10	5	0	0	215
	尾崎		23.0	23.0	150	10	13	0	0	173
	生草		22.0	23.0	50	5	1	0	0	56
	新免4号(沖)		22.0	22.0	30	30	7	0	0	67
	新免4号(岸)		22.0	22.0	50	30	10	0	0	90
	長浜(東)		22.0	22.0	20	10	5	0	0	35
	長浜(西)		22.0	22.0	10	40	6	0	0	56
	鳴瀬町		樺山	7月21日	21.8	17.0	0	1	0	0
中の浜		20.8	12.0		0	0	0	0	0	0
津島		21.0	22.0		11	12	8	0	0	31
石浜		20.1	22.0		10	9	5	1	0	25
鐘島		20.0	22.0		9	16	13	0	0	38
宮水高校	万石浦中央滞	7月26日	23.0	20.0	0	0	15	7	0	22

○研究会の調査結果

荻浜の地先で500個/100L。程度観察された。

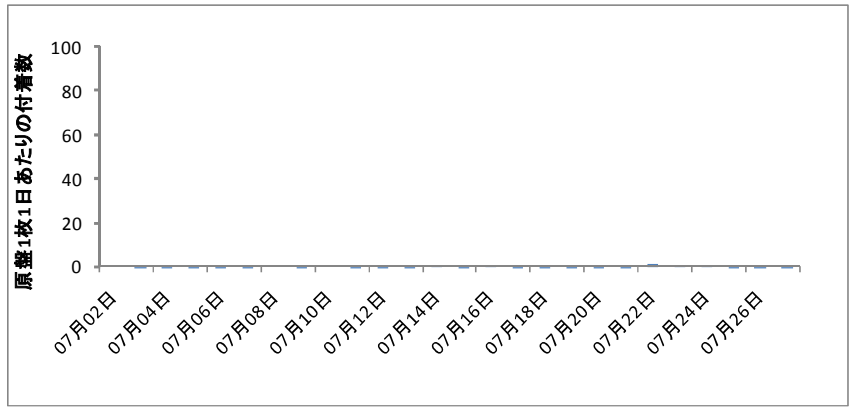
▼熟度調査結果



7月23日の調査では松島, 桃浦, 万石浦とも熟度指数は35%前後の高い値を示している。

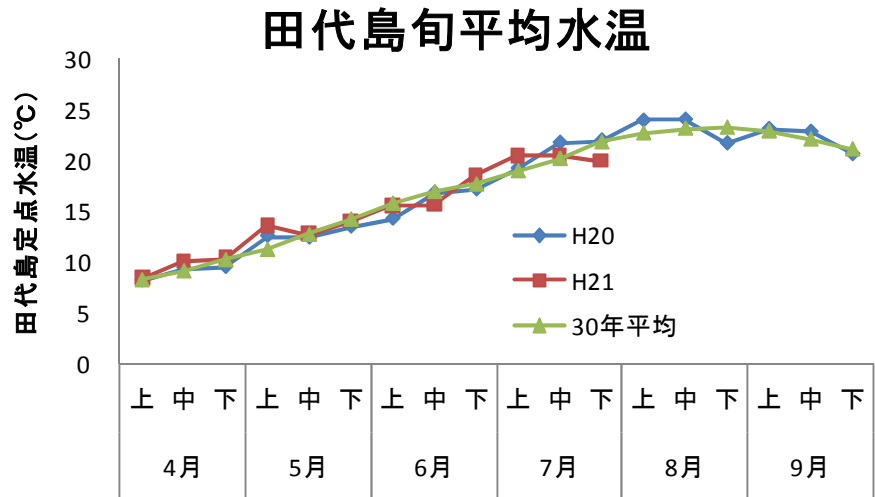
▼試験連への付着状況

○ 7月22～27日のあいだ、試験連への付着は原盤1枚1日あたり、0.16～1.0個だった。



▼水温の動向

○田代島定点の旬平均水温(表層)
6月下旬～7月中旬は平年より高め～平年並みで推移していたが、7月下旬は平年を下回っている。



▼東北地方の1ヶ月予報(7/24仙台管区气象台発表)

＜特に注意を要する事項＞

期間の前半を中心に日照時間が少ない見込みです。また、気温がかなり低くなるおそれがあります。農作物の管理等に十分注意してください。

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月25日～8月24日):

東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。寒気やオホーツク海高気圧の影響で、天気のごずつく時期がある見込みです。期間の前半を中心に日照時間が少ない見込みです。また、気温がかなり低くなるおそれがあります。農作物の管理等に十分注意してください。平均気温は低い確率が60%です。

1週目(7月25日～7月31日):

気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の後半は晴れるところがあるでしょう。平均気温は低い確率が50%です。

2週目(8月1日～8月7日):

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。平均気温は低い確率が50%です。

3～4週目(8月8日～8月21日):

寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

[連絡事項]

1. 各地先での浮遊幼生観測結果は随時、水産技術総合センター養殖生産部まで FAX(0225-97-3444)で連絡下さい。また、産卵の情報などもお待ちしております。
2. 本通報の内容は当センターのホームページ<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>でもご覧になれます。
3. 次回の通報発行は8月3日(月)の予定です。